

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業(統計情報総合研究事業)）
我が国における望ましい医療・介護提供体制の在り方に関する保健医療データベースの
リンケージを活用した課題の提示と実証研究
分担研究報告書

介護・医療施設における医療 / 介護保険の請求状況

研究分担者 菅原慎矢

研究要旨

例えば在宅療養支援診療所ではよく似たケアであっても医療保険と介護保険の請求を選択することが一定程度可能だと言われている。こうした状況で、医療費・介護費がどのように決定されているかを考える際に、医療・介護を独立にとらえるのではなく、同時に把握することが、国民福祉の分析においては必須である。本研究は、そうした現状について、介護レセプトと医療データを結合したリンケージデータを用いて明らかにする。さらに、医療・介護施設の施設情報をリンケージすることで、医療保険からの請求を行いやすいか否かなど、施設属性と医療・介護費の関係性について明らかにする。

A. 研究目的

医療費・介護費がどのように決定されているかを、両セクターを同時に分析することで明らかにする。

B. 研究方法

介護レセプトである介護給付費実態調査と医療情報である患者調査・病院施設静態調査をリンケージする。事業所コード・医療機関等コードの定義には法則性があり、リンケージは機械的に可能である。

C. 研究成果

分析途中であり、まだ成果は出ていない。

D. 考察

現行制度では医療レセプトデータと介護レセプトデータは結合できないことが判明したため、医療費の分析はむつかしく、医療サービ

ス提供有無と介護費用の関係までしか分析できないと考えられる。一方で、介護レセプトは介護DBという新しい提供方法がはじまっており、これと医療レセプトのNDBが結合できるようになる可能性があり、制度面には注意を払っている。

E. 結論

分析途中であり、まだ結論は出ていない。

F. 健康危険情報

特に記載すべき点はありません。

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状

